



# こんな自転車ほしかってん！

～ 課題解決型プログラム ～

小学6年生対象

## 目標

ものづくり企画提案は、社会で使われているモノについて自分たちで考え企画するプログラムです。モノというものは、モノだけで存在しているのではなく、作り手が使う人の立場に立ってよりよいものと考え、作られています。プログラムを通して相手の立場に立って考えることの大切さを学び、社会への関心を深めることを目標としています。

## プログラム概要

- ①外部講師(企業等)からものづくりをテーマにしたミッションをもらいます。
- ②与えられたミッションの徹底分析を行い、個人で企画書を作ります。
- ③グループをつくり、グループで話し合いながら企画を1つまとめあげます。
- ④グループで企画に注目した理由をアンケートやインターネットで調べます。
- ⑤中間発表を行い、他者からのコメントをもとに企画の練り直しを行います。
- ⑥パワーポイントで資料を制作します。(新聞等違った形式でのプレゼンも可)
- ⑦審査会で自分たちの考えた企画をプレゼンし、相手に伝えます。

## 授業時間数

25－30時間

## 外部講師 教育資源の活用

株式会社シマノ・自転車サイクル開発センター  
堺観光コンベンション協会 等

## 主な教科等 関連教科等

主となる教科:総合的な学習の時間  
関連教科:国語、道徳等

## 他の分野への応用

## 「子ども堺学」 ポータルサイトの活用

[トップ](#) → [教員ページ](#)

<http://sd.sakai.ed.jp/>

# 学習の流れ

## ①ミッション



《ねらい》

ミッションを受けプロジェクトの目的を知り、学習の見通しをもつ。

《授業の進め方》

- ①事前に自転車についてPCなどで調べて関心をもってもらう。
- ②外部講師から自転車について講義を聴き、「ミッション」をもらうことで自分たちが何をしなければいけないかを認識する。

## ②徹底分析



《ねらい》

与えられたミッションについて、多様な観点から考える。

《授業の進め方》

- ①分析することの意味・シートの使い方を説明する。
- ②項目ごとにみんなで意見を出し合い共有する。
- ③企画・実践してみたい切り口を決める。

## ③個人企画



《ねらい》

考えた切り口から論理的な企画書を作成する。

《授業の進め方》

- ①シートの番号に従って進めていく。(思考の順番)
- ②項目ごとの繋がりを意識しながら企画する。

## ④グループワーク



《ねらい》

個人で作成した企画書を持ち寄り、その良い点・課題点を話し合うことを通して、グループでよりよい企画書を作成する。

《授業の進め方》

- ①グループのメンバー発表、グループ分け。
- ②リーダーや企画係など役割を決める。
- ③個人企画を発表し、皆で個人企画の共有やコメントを出す。

## ⑤ 中間発表



《ねらい》

良い企画を作るために、一度見直しをすることの重要性を知る。

《授業の進め方》

- ① 中間発表前の最終準備をする。
- ② 中間発表の実施。
- ③ 先生や児童からコメント。
- ④ コメント内容を整理し、次に生かす。

## ⑥ 練り直し



《ねらい》

コメントや実践データからもう一度自分たちの企画を見直す。

論理的な考え方や根拠などを探し出す。

《授業の進め方》

- ① コメントやデータを皆で振り返る。
- ② 企画・実践の改善点は何かをメンバーで共有する
- ③ 具体的な改善をかけていく。根拠などを調査する。
- ④ 項目ごとの関連性はあるか？根拠が示しているかを確認。

## ⑦ プレゼン 作成



《ねらい》

コメントをもとに、自分たちの企画の修正点を考える。

相手に伝わりやすい資料や原稿について話し合う。

《授業の進め方》

- ① パワポ、原稿づくりなど役割分担する。
- ② 分担した資料づくりを開始する。
- ③ 完成したグループからリハーサルを行う。

## ⑧ 最終審査会



《ねらい》

企業の方に、企画のプレゼンテーションを行い、学習の成果をまとめる

《授業の進め方》

- ① 発表前の最終確認を行う。
- ② プレゼンテーション。
- ③ 活動を通して学んだこと、ついた力を振り返る。